

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
こども学科 (保育士コース)											
保育・教職実践演習B											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	演習	時間数	15	単位	1
担当教員	石川素子			実務経験	有	職種	保育士				
授業概要											
保育・教職実践演習A及び保育実習で学んできた知識や技能を基盤に、保育士としての資質や能力を確認し、知識や技能の定着を図る。保育士になることを前提に、役割演技（ロールプレイング）や事例研究、グループ討論を用いて自己課題を自覚する。保育実践力を高めるために、模擬保育を行うが、実践だけでなく、実践後具体的に振り返り、反省・評価・改善を行う。											
到達目標											
以下6点の技術・姿勢を習得することを目指す。①ひとりひとりの乳幼児を大切にした保育とはどのようなものか学ぶ②ひとりひとりの生活環境を知り、生活を通して幼児理解を深める③乳幼児の発達を見つめ、ひとりひとりへの理解を深める④乳幼児ひとりひとりの保健衛生や健康に心掛け、安全に対して配慮していく⑤家庭との連携による信頼関係を築く⑥保育の記録や管理に責任を持つ											
授業方法											
これまでに経験した実習を踏まえ、職務に対する責任感、コミュニケーションの重要性、乳幼児の理解、保育内容の指導力、クラス運営などについて総括し、実践力をつけられるようにする。個人ワークやグループワークも取り入れ、理解を深めていく。実習や授業の総括ということもあり、模擬保育の立案・計画・実践だけでなく、実践を評価し、改善点をみつけたところまで行う。											
成績評価方法											
授業の内容に関する小テストによる理解度（評価の50％） 平常点（授業への参加姿勢・課題の提出状況及び内容）（評価の50％）											
履修上の注意											
理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中の私語や携帯電話の使用は厳しく指導する。課題が出た場合は締切日時を守るようにする。 実際に保育職に就くことを前提に授業をすすめるので、異なる進路を目指す者であっても、保育者としての免許・資格を取得する責任を自覚し、各々の保育実践力の向上を目指すこと。											
教科書教材											
『幼稚園教育要領解説』＜最新版＞文部科学省フレーベル館2018年 『保育所保育指針解説書』＜最新版＞厚生労働省フレーベル館2018年 必要に応じて資料などを配布。											
回数	授業計画										
第1回	保育のカリキュラムの基礎										
第2回	保育内容を考える										
第3回	保育方法を考える										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
こども学科 (保育士コース)	
保育・教職実践演習B	
第4回	協同的な学びを考える
第5回	保護者及び地域との関係づくり
第6回	自分の「保育者像」をめざして
第7回	模擬保育立案
第8回	模擬保育実践・振り返り